

大学等名 北九州市立大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

北九州市立大学内部質保証推進室

(責任者名) 柳井 雅人

(役職名) 学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	プログラムの履修・修得状況は、本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きるAI技術」の履修・修得状況を把握することにより確認している。受講者ごとの課題・演習等の進捗状況は、LMSを活用することにより把握している。
学修成果	本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きるAI技術」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学修成果に関する結果を確認し、本教育プログラムの自己点検および評価・改善に活用している。 また、課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの達成状況を把握することにより、学修成果を確認している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きるAI技術」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学生の理解度を把握し、自己点検および評価・改善に繋げている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本教育プログラムの詳細についてWebサイトに掲載して、在学生・入学希望者等へ周知する予定である。 また、授業評価アンケートにおける理解度・満足度の結果を踏まえて、入学オリエンテーションでのアナウンスや関連科目での科目案内資料配布などを行い、プログラムの履修を推奨する予定である。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムの開設年度は令和5年度である(令和4年度以降入学生が対象)。そのため令和6年度以降は、履修者数の合計および履修率は増加すると見込まれる。 なお、本教育プログラムの詳細についてはWebサイトに掲載して学生へ周知するとともに、関連科目等でのアナウンスを行う予定である。これにより履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>令和5年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路、活躍状況、企業等の評価を把握し、本教育プログラムの改善の参考とする予定である。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>令和5年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には本教育プログラム内容・手法等に対する企業等からの意見を把握し、教育プログラムの改善の参考とする予定である。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きるAI技術」について、データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような講義内容を検討し、授業を実施する。また、授業評価アンケートの結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げ、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解してもらえるような教育プログラムを検討する。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>授業評価アンケートにより、学生の理解度を把握し、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げている。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となるように、教員自らによる自己点検および評価・改善も行う。</p>